

オーディオ実験室収載

モーツアルト盤を聴く (34) (HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(34)—

1. 始めに

前報(33)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

加えて、仮想アース Crystal E の導入(15)で報告しましたように、スピーカーケーブルの結線に自作の仮想アースを接続しています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回もピアノソナタの曲です。

CBS SONY SOCZ 96-98

モーツアルト ピアノソナタ 11 番イ長調
ピアノソナタ 10 番ハ長調
ロンドニ長調
ピアノソナタ 8 番イ短調
幻想曲ニ短調
ピアノソナタ 9 番ニ長調
ピアノソナタ 15 番ハ長調
ピアノソナタ 13 番変ロ長調
幻想曲ハ短調
ピアノソナタ 14 番ハ短調

リリー・クラウス (ピアノ)

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

CBS SONY 盤ということで、Columbia、逆相、第 4 時定数 Low で聴いて行きます。

3枚組のリリー・クラウスのピアノ曲集で、LINN LP-12により、じっくり聴いてみました。リリー・クラウスのモーツァルトは、前報(33)までのイングリット・ヘブラーのそれとならぶ定番の演奏です。

リリー・クラウスの演奏は、過度な情緒的表現に流されず、かなり強めの打鍵で淡々と弾いているようで、それぞれの曲にあった表情をそれとなく表現しています。

3. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレイク、Crystal Eの導入の交換などの総合的な効果として、リリー・クラウスのモーツァルトの表現が把握できました。

以上